

## 第3回 医療ヘルスケア産業イノベーションフォーラム —医療ヘルスケア産業の革新と市場創出に向けた課題と展望—

■主催：情報・産業社会システム部会 医療ITイノベーション戦略研究会

■担当部署：インダストリ・システム部

■参加者数：約130名

### 概要

当協会では、医療ヘルスケア分野におけるICTの利活用による医療ヘルスケア産業の革新と、新市場の創出に向けた活動を推進していくため、平成23年度より「情報・産業社会システム部会」の傘下に「医療ITイノベーション戦略研究会」を設置し、様々な活動に取り組んでおります。

今般、当該研究会の活動の一環と致しまして、医療分野に関連する機関等における有識者の方々のご協力を得まして、第3回医療ヘルスケア産業イノベーションフォーラムを下記のとおり開催致しました。

冒頭に一般社団法人 電子情報技術産業協会 半田専務理事より、医療ITイノベーション戦略研究会の発足の経緯及び活動概要について説明があり、その後、厚生労働省 医療機器審査管理室 浅沼室長より、業界と行政の意見交換の場である「医療機器規制制度タスクフォース」での議論を踏まえた今後の薬事法改正に向けた動向について説明を頂きました。

続いて、社会医療法人 董仙会恵寿総合病院 神野理事長より、能登において行われた病院の地域連携プロジェ

クトをご紹介頂きながら、これからの医療IT連携の展望についてお話を頂きました。次に、東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 三林教授より、生体情報のバイオセンシングとそのシステム化といった最新の医療分野へのIT活用事例動向に加え、今後の生体計測にセンサー技術を用いることの重要性についてご説明を頂きました。

次に、旭化成(株) 医療新事業プロジェクト 庄境部長より、旭化成グループとして考えるヘルスケアビジネスの展望について触れて頂くと共に、グループ会社のヘーベルハウスと共同した在宅医療のビジネスモデルについてお話を頂きました。

最後に、(株)日立メディコ 三木特別顧問より、医療機器分野の海外展開に係る取り組みについてお話を頂くと共に、市場開拓に向けた課題や望まれる対応策等についてご講演を頂きました。

公官庁、医療機関、医療機器産業の第一線で活躍をしている講師による最新の医療ヘルスケア産業展望について知ることのできる機会となり、今回もたいへん有意義なフォーラム内容となりました。



## プログラム

○厚生労働省における「薬事法」改正の取組み状況について

浅沼一成 氏（厚生労働省 医薬食品局 審査管理課 医療機器審査管理室長）

○医療機関が考えるICTの利活用による地域医療介護連携について

神野正博 氏（社会医療法人 董仙会恵寿総合病院 理事長、社団法人 全日本病院協会 副会長）

○医療ヘルスケア分野におけるICTの活用事例と産業界への期待について

三林浩二 氏（東京医科歯科大学 学長特別補佐 生体材料工学研究所 教授）

○医療ヘルスケアビジネスへの取組みと今後の展望について

庄境 誠 氏（旭化成(株) 医療新事業プロジェクト 医療IT部長）

○医療機器産業の海外展開の課題と政府施策への要望について

三木一克 氏（(株)日立メディコ 特別顧問）



半田専務理事



浅沼室長



神野氏



三林氏



庄境氏



三木氏